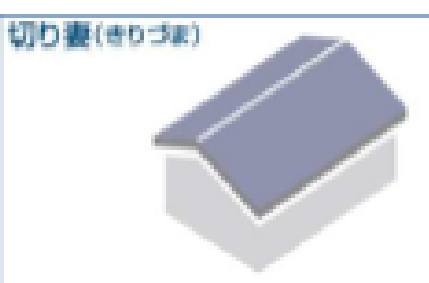
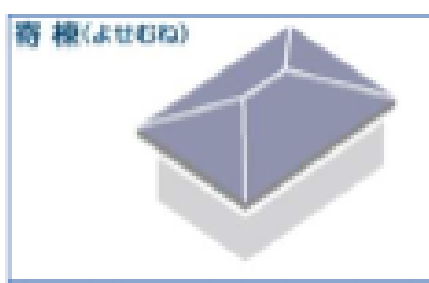


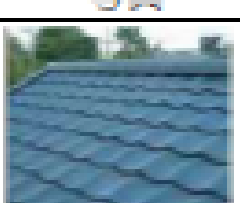



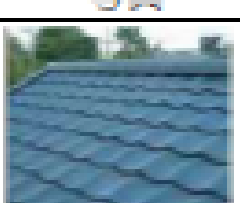



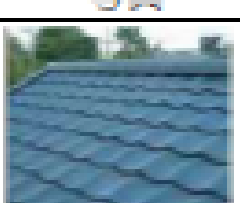





手順書【システムキッチン】編

Step1 案件の入手	<ul style="list-style-type: none"> ■お客様のリフォームの動機・目的は何かを確認する。 例) 新規製品への交換/換気扇の清掃性/食器類の収納性/機能性の改善/食洗機の設置など ■具体的に現状の不具合や不満点を確認する。 ※具体的なお客様のコメント例) 足元が冷えて寒い/大きなシンクにしたい/対面式のキッチンにしたい/動線が悪くて不便/ガス台が旧式なので交換したい/
1-1 要望内容と動機・目的を聞き取りする	<p style="text-align: center;">システムキッチン</p> <p style="text-align: right;">上長☑</p> <ul style="list-style-type: none"> □リフォームの範囲を確認する。 ・システムキッチン単体のリフォームか ・I型またはL型など、ご希望はありますか ・ダイニング（食堂・居間）を含めた周辺のリフォームか □耐震補強を希望するかどうかを確認する。 ・壁の耐震補強を行うか ※「助成金利用の耐震診断」を勧める □リフォーム時の仮住まいを希望するかどうかを確認する □概算予算を把握する。 ・工事予算のご希望金額はございますか？とお聞きして、反応をみる ・全体予算、各部位毎の予算と優先順位を確認する
1-2 訪問の事前準備をする	<ul style="list-style-type: none"> ※お客様がすでに初期相談（来館、電話）をしている場合には、受付者から担当者にその内容を的確に伝達する。 □聞き取り内容に基づき、訪問及び現場調査の準備をする □必要な場合には、専門業者を同行させる □訪問前にお客様の都合を再確認する。およその打合せ・調査時間をつたえ了解を得る。 □確認申請時の設計図書など予め準備していただくよう依頼しておく。
1-3 必要なツール・用具を持参する	<ul style="list-style-type: none"> □必要なツールを持参する ・打合せ記録用紙 ・会社案内など ・ご希望聞き取りシート ・現地確認（方眼紙など）シート □調査用具を持参する ・メジャー ・電卓 ・筆記用具 ・カタログ類 ・サンプル ・スリッパ ・懐中電灯 ・方位磁石 ・水準器 ・デジカメ ・照度計 ・間柱センサー ・勾配計 ・簡単な工具類
Step2 現地調査と診断	<p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> □お約束に時間に遅れたり、現地での調査時間が不用意に長くないよう心がける。 □設計図書を入手し、現状と合わせ確認をする。 ※設計図書が無い場合は独自に調査・採寸を行い、現状を確認する。 □設計図書のコピー等が欲しいときは、その旨告げて許可をいただくこと。 □その際、名刺の裏面を利用して、簡易的な「借用書」を作成しお渡しするのが望ましい。
2-1 お客様の要望に基づき現状を把握する	<p style="text-align: center;">システムキッチン</p> <p style="text-align: right;">上長☑</p> <ul style="list-style-type: none"> □キッチンの利用方法を確認する ・交換の動機は？ ・換気扇の風量・排気音は正常の範囲か ・シンク・カウンターのお手入れは定期的に行われているか ・換気扇のお手入れは定期的に行われているか ・ガス台（魚焼きグリル）のお手入れは定期的に行われているか □会所枺を開き、防臭装置・つまりの具合・排水勾配等の点検を行う □継続使用または再利用するもの、新規購入するものを確認する ★[お客様打合せシート：方眼紙] 
2-2 希望するリフォーム後の利用方法やイメージを確認する	<ul style="list-style-type: none"> □設計図書を入手し、現状と合わせ確認をする。 ※設計図書がない場合は、独自に調査を行い、現状の確認をする。 ※建築時適法であっても、その後の法改正により基準が合わなくなった部分は既存不適格という □部屋の広さ、高さ、床段差の有無等を確認する。（ドア、開口部の下枠の有無等） □建物の増築が必要な場合は、可能かどうか、建築条件（建ぺい率、容積率、壁面後退等）や隣地との境界等を確認する。 □コンセントの有無、位置、電気配線（分電盤・回路数等）を確認する。 □換気扇の位置関係調べる

手順書【屋根】編

Step1 案件の入手	<ul style="list-style-type: none"> ■お客様のリフォームの動機・目的は何かを確認する。 ※具体的なお客様のコメント例 「長く住宅を使い続けたい」/「家の外観をきれいに保ちたい」 など ■具体的に現状の不具合や不満点を確認する。 例) 雨漏れ/美観/屋根材や外壁材の劣化・破損/樋の不具合/耐震性/断熱・遮音性/防火性/防水性 ※具体的なお客様のコメント例 「外壁に亀裂がある」/「瓦がずれている」/「樋が詰まっている」/「天井にシミができています」など 																								
1-1 要望内容と動機・目的を聞き取りする	<p style="text-align: center;">屋 根</p> <p style="text-align: right;">上長☑</p> <ul style="list-style-type: none"> □リフォームの範囲（優先順位）を確認する。 ・雨水の浸入対策のみを行うか ・屋根（屋上）のみのリフォームか ・屋根材（仕上げ）の変更を伴うか ・屋上すずりなどの補修・交換を伴うか ・破損部分の補修のみを行うか ・屋根・外壁両方にかかわるリフォームか ・樋の補修・交換を伴うか ・太陽光の設置や屋上緑化などの計画を伴うか □耐震補強を希望するかどうかを確認する。 ・屋根の軽量化を行うか ・壁の耐震補強を行うか ※「助成金利用の耐震診断」を勧める □概算予算を把握する。 ・工事予算のご希望金額はございますか？とお聞きして、反応をみる ・全体予算、各部位毎の予算と優先順位を確認する 																								
1-2 屋根の現状を聞き取りする	<ul style="list-style-type: none"> □住宅の築年数を確認する □住宅の構造を確認する（在来軸組、2×4、軽量鉄骨、RC造）を確認する □屋根（屋上）の形状（切り妻、寄棟、片流れ）を確認する（その他： ） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>切り妻(かりづま)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>寄棟(よせむね)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>片流れ(かたなげ)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>方形(ほうぎょう)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>陸屋根(りくね)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>その他</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> □屋根材の種類（瓦、厚形スレート、彩色スレート、金属板）を確認する（その他： ） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>写真</th> <th>特 徴</th> <th>塗装適正</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陶器瓦</td> <td></td> <td>粘土を素焼きしたもので、表面は非常に硬く傷がつきにくい。表面が緻密で硬いため、塗装不可。</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>いぶし瓦</td> <td></td> <td>焼成したあとに空気を遮断し「蒸し焼き」にして銀色の炭素膜を形成させます。表面が緻密で硬いため、塗装不可。</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>セメント瓦</td> <td></td> <td>セメントと砂を混生し練ったものを加圧成形し乾燥させた瓦</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>写真</th> <th>特 徴</th> <th>塗装適正</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乾式コンクリート瓦</td> <td></td> <td>コンクリートの上に、スラリー層という着色セメント乗っけています。経年数で風化が進み脆くなる。モニエル瓦、パラマウント瓦など</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>	種類	写真	特 徴	塗装適正	陶器瓦		粘土を素焼きしたもので、表面は非常に硬く傷がつきにくい。表面が緻密で硬いため、塗装不可。	×	いぶし瓦		焼成したあとに空気を遮断し「蒸し焼き」にして銀色の炭素膜を形成させます。表面が緻密で硬いため、塗装不可。	×	セメント瓦		セメントと砂を混生し練ったものを加圧成形し乾燥させた瓦	○	種類	写真	特 徴	塗装適正	乾式コンクリート瓦		コンクリートの上に、スラリー層という着色セメント乗っけています。経年数で風化が進み脆くなる。モニエル瓦、パラマウント瓦など	×
種類	写真	特 徴	塗装適正																						
陶器瓦		粘土を素焼きしたもので、表面は非常に硬く傷がつきにくい。表面が緻密で硬いため、塗装不可。	×																						
いぶし瓦		焼成したあとに空気を遮断し「蒸し焼き」にして銀色の炭素膜を形成させます。表面が緻密で硬いため、塗装不可。	×																						
セメント瓦		セメントと砂を混生し練ったものを加圧成形し乾燥させた瓦	○																						
種類	写真	特 徴	塗装適正																						
乾式コンクリート瓦		コンクリートの上に、スラリー層という着色セメント乗っけています。経年数で風化が進み脆くなる。モニエル瓦、パラマウント瓦など	×																						

ホーム ツール SK1905_フォーム宮... ×

1 / 56

しおり

リフォーム工事別手順書

- 手順書【システムキッチン】編
- 手順書【ユニットバス】編
- 手順書【トイレ】編
- 手順書【洗面脱衣室】編
- 手順書【外 壁】編
- 手順書【屋 根】編
- 手順書【内装とダイニング】編
- 手順書【増築と減築】編
- 手順書【省エネリフォーム】編
- 手順書【耐震リフォーム】編